株主の皆様へ

YUSHIN

第53期 第2四半期（中間期）
株主通信
YUSHIN株式会社

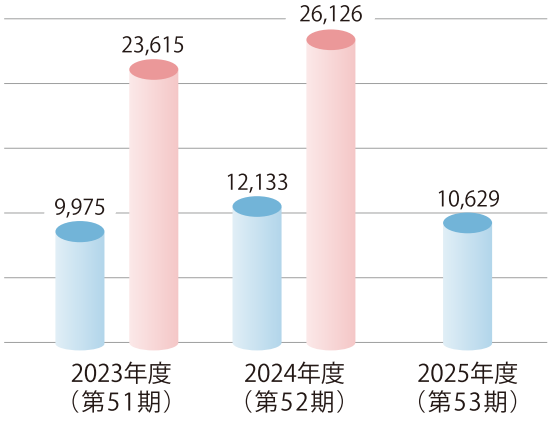
2025年4月1日～2025年9月30日
証券コード 6482（東証スタンダード）

平素は当社の事業運営に、格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第53期第2四半期（中間期）連結累計期間の概況につきましてご報告申し上げます。

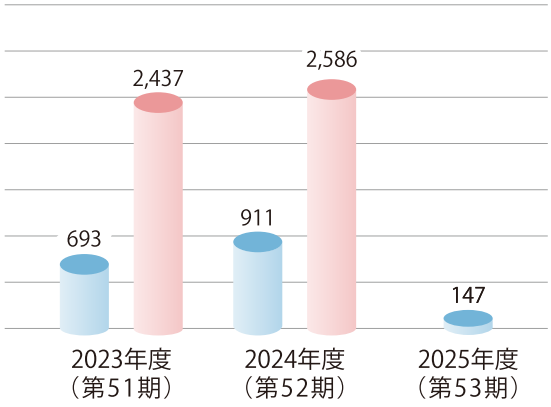
業績ハイライト

（百万円）　■ 第2四半期（中間期）累計　■ 通期

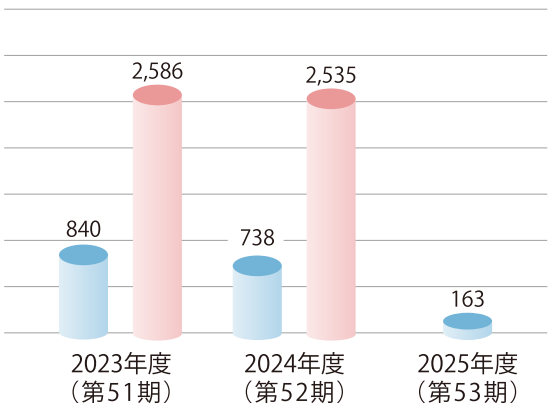
売上高
10,629百万円
（前年同期比 12.4%減）



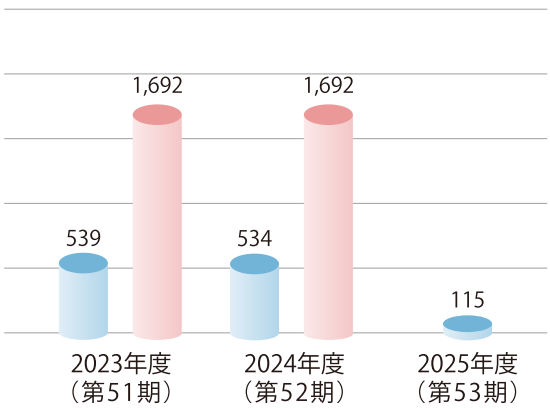
営業利益
147百万円
（前年同期比 83.8%減）



経常利益
163百万円
（前年同期比 77.9%減）



親会社株主に帰属する中間純利益
115百万円
（前年同期比 78.4%減）



当第2四半期（中間期）の営業の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の関税政策やエネルギーおよび原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境下において、当社グループは引き続き世界規模での新規顧客の開拓に取り組んでまいりましたが、受注は全体として低調に推移いたしました。

当中間連結会計期間の経営成績につきましては、前中間連結会計期間に比べて、アジアでの販売が増加した一方、欧米および日本では減少しました。その結果、連結売上高は前年同期比12.4%減の10,629百万円となりました。

利益面では、連結売上高の減少に加え、いずれも中長期的な成長を見据えた、積極的な人財投資による人件費の増加や、開発投資に伴う研究開発費の増加などの影響を受け、営業利益は前年同期比83.8%減の147百万円となりました。経常利益は前年同期比77.9%減の163百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比78.4%減の115百万円となりました。

YUSHINレポート2025

当社では2022年からYUSHINレポート（統合報告書）を発行しています。本レポートは、当社グループの社会的・経済的価値創造の仕組みを示すとともに、マテリアリティへの対応、人的資本に対する考え方、環境・社会課題への取組み、コーポレート・ガバナンスの実践など、サステナビリティに関する情報を体系的に説明しています。これにより、当社が目指す持続的成長の姿を、すべてのステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的としています。

2025年版では、社外取締役と社外監査役による鼎談、中長期の経営目標と実現に向けた戦略、人的資本強化の施策などを掲載しました。これらを通じて、当社のサステナビリティに対する姿勢と、飛躍に向けた中長期的な成長ストーリーを説明しています。

本レポートを通じて、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションをさらに深め、企業価値の持続的な向上を推進してまいります。

レポートは左のコードから
ご覧いただけます。

特集　パレタイジングロボットを通じた新たな業界への挑戦

当社では、中長期経営目標の実現に向けた戦略の一つに「新規事業の開拓」を掲げています。当社が新たに展開しているパレタイジングロボットは、発売以来、売上が堅調に推移しており、当社業績における存在感を着実に高めています。

このパレタイジングロボットについて、YUSHINならではの強みや特長、今後の展望などをご紹介します。

パレタイジングロボット事業を始めたきっかけ

パレタイジングロボット事業は、2020年6月に「PAシリーズ」を発売したことで本格的にスタートし、以来、着実に売上を伸ばしてきました。このロボットは、当社が長年にわたり培ってきた取出ロボットの要素技術を応用し開発されたもので、お客様の幅広いニーズにお応えするため、新モデルも相次いで発売しラインアップの充実を図っています。この事業に参入した背景には、梱包・物流現場における自動化ニーズの高まりがあります。人手不足や物流の2024年問題、EC市場の拡大による物量増加などを理由とした自動化ニーズにお応えし、お客様が抱える課題解決をサポートできると考えています。また、重量物の運搬作業は肉体的な負担が大きく、労働安全性の観点からも自動化による労働環境の改善が求められています。

YUSHINのパレタイジングロボットの強みや特長

物流現場ではこれまで、設置スペースの制約などが障壁となり自動化機器の導入があまり進んできませんでした。この課題に対応するため、当社のパレタイジングロボットは「省スペース＆フリーアクセス」を実現しています。これは、直交型ロボットの構造を活かした強みで、従来導入が難しかった現場にも対応可能となりました。さらに、「直感的な操作性」や「省エネ」も当社商品の特長であり、お客様の物流現場の生産性向上や環境負荷低減にも寄与しています。

パレタイジングロボット
「PAシリーズ」

今後の展望

今後も物の移動は増え続けると考えています。また、人手不足も深刻化が見込まれ、自動化の需要はますます高まることが予想されます。物が動くすべての場所に可能性があると考えており、「物の動きがある、あらゆるところにパレタイジングロボット」を目指し、更なる成長に向けた取組みを進めてまいります。

トピックス　K2025国際プラスチック・ゴム産業展に出展

2025年10月、ドイツのデュッセルドルフにて「K2025国際プラスチック・ゴム産業展」が開催されました。本展示会は3年に一度開催される世界最大のプラスチック・ゴム工業見本市です。今回は3,200社以上が出展、160の国と地域から約17.5万人が来場しました。

当社はスウェーデンのグループ会社WEMO AUTOMATION ABと初めて共同出展し、当社のハイサイクル取出ロボットとWEMO社による多様な自動化システムを展示しました。共同出展を通じて、欧州におけるYUSHINグループの存在感を高めるとともに、両社の連携強化にもつながる貴重な機会となりました。

会社概要

▶会社基本情報

商号	YUSHIN株式会社 Yushin Company
代表者	代表取締役社長　小谷 高代
設立	1973年10月
資本金	1,985,666千円
本社所在地	京都市南区久世殿城町555番地 TEL.075-933-9555（代）
連結社員数	827人（2025年9月30日現在）
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に関連する装置・システムの開発、製造、販売
主要商品	・プラスチック射出成形品取出ロボット ・自動ストック装置および省力化自動機器

▶役員一覧（2025年9月30日現在）

代表取締役社長		小谷　高代
取締役副社長		小田　康太
専務取締役		北川　康史
常務取締役		稲野　智宏
取締役	（社外）	西口　泰夫
取締役	（社外）	松久　寛
取締役	（社外）	中山　礼子
常勤監査役		福井　理仁
監査役	（社外）	野中　徹也
監査役	（社外）	山田　美樹

株式情報

▶株主メモ

- 証券コード　6482（東証スタンダード）
- 単元株式数　100株
- 事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日　定時株主総会　3月31日
  剰余金の配当　期末 3月31日
  中間 9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
  三菱 UFJ 信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所　（お問い合せ先）
  三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部
  TEL.0120-094-777（通話料無料）
- 公告方法　電子公告　当社ホームページにて掲載
  ホームページ
  https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/4/6482/index.html

▶株式の状況（2025年9月30日現在）

発行済株式の総数 ―― 35,638,066株
中間期末株主数 ―― 6,629名

●株式分割の推移

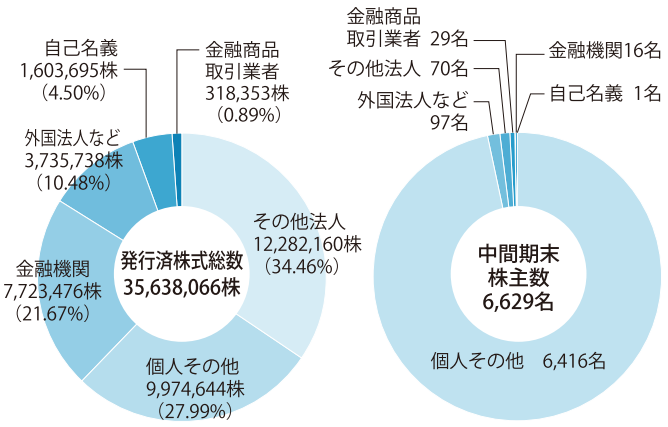
1996年	5月	1:1.1
1997年	5月	1:1.2
1998年	5月	1:1.2
1998年	11月	1:1.2
1999年	11月	1:1.2
2000年	5月	1:1.1
2001年	5月	1:1.1
2004年	5月	1:1.1
2008年	4月	1:1.1
2018年	4月	1:2

●配当金※の推移

2017年	3月期	36円
2018年	3月期	33円
2019年	3月期	17円
2020年	3月期	18円
2021年	3月期	18円
2022年	3月期	19円
2023年	3月期	30円 （50周年記念配当10円含む）
2024年	3月期	20円
2025年	3月期	20円

※2018年4月1日を効力発生日として、1株につき2株の株式分割を実施しました。2018年3月期以前の配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

▶株主構成（株数別、人数別）　（2025年9月30日現在）



▶大株主（2025年9月30日現在）

株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
株式会社ユーシンインダストリー	11,992	35.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,681	7.9
小谷 高代	1,968	5.8
村田 美樹	1,847	5.4
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,133	3.3
京都中央信用金庫	1,003	2.9
小谷 眞由美	968	2.8
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	877	2.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	854	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	849	2.5

*当社の自己株式1,603,695株は、上記の表から除いています。